



2



1



5



4



3

①担任の先生の先導で入場。②指先を真つすぐ伸ばし起立。③在校生代表の野坂朋生くん(小6)の「歓迎の言葉」。登壇前は緊張すると話していました。右は中学校代表の中村杏さん。④同じ学園内でも新たな気持ちの中学生。



7



6

⑤教室に戻り、歌あそびでリラックス。⑥正門前では家族の記念撮影。⑦何組になったのかな？

4/7 TUE

### 真新しい制服に身を包み

#### 小方学園

小中一貫校の小方学園。合同で行われた入学式は、小学生73人、中学生95人の新入生を迎えて行われました。

真新しい制服に身を包んだ新入生たちは、まだ少しぎこちなさそう。小学生たちは、一人一人名前を呼ばれると、元気よく返事をして起立します。

大橋校長は、お祝いの言葉の中で、「小学生のお手本になり、憧れるカッコいい中学生になってください」と、一歩前進したお兄さんお姉さんとしての自覚を促しました。

中学3年の中村杏さんは、「部活など一緒に活動できることを楽しみにしています」と、歓迎の言葉を贈り、中学1年の大村幸輝くんは、「さまざまな活動に一生懸命取り組んでいきます」と応えます。

小学生たちは『一年生になったら』を合唱。希望に満ちた幕開けでした。

①頑張って縫わないと左から小池久子さん(南米三上)文子さん(木町山根)博子さん(本町内田)みさ江さん(白百合)弁当と一緒にマスクを手渡し。

4/1 WED



1

2

### 手作りマスク届けます

#### シルバー人材センター

新型コロナウイルス予防になればと、シルバー人材センターの女性会員の発案で布製のマスクを手作り。センターの配食サービスを利用して高齢者世帯に配布しました。松崎理事長は「マスク不足の中、高齢者同士助け合い、日頃の感謝を込めて配りたい」と話します。製作に携わった4人の女性からは、「孫のマスクが無かったので作ってみたのがきっかけ」「失敗を重ね工夫して使いやすいようにした」「ゴムが手に入りやすい」との声。弁当と一緒に受け取った中茂義高さんは、「洗って使えるのでうれしい」と喜びの表情。おがたヒア、コミュニティサロン元町、スペイン通りの交流サロンで販売しています。



3

③生徒会副会長の敷田さんが贈る歓迎の言葉。



1



4

④新入生を代表して、後藤詩歩さんが、「大竹中の一員として自覚を持ち、お互いを思いやる気持ちで共に成長したい」と誓いました。



2

①保護者が見守る中、新入生の入場。マスクの下は少し緊張気味の表情がもたれませんが②名前を呼ばれ起立。

4/7 TUE

### 花満開の入学式

#### 大竹中学校

大竹中学校の校門前の桜が、新入生を迎えるように咲き誇る中、入学式が挙行されました。

新型コロナウイルスの感染の勢いが止まらない春。在校生は「歓迎の言葉」を述べる代表1人だけの出席になり、少し寂しい式となりました。それでもマスクを付けた140人の新入生が入場すると、保護者らは、一斉にビデオカメラやスマートフォンのカメラを向け、わが子の晴れ姿を収めます。

3年の敷田かのこさんは、登壇を前に「中学校生活について、少しでも歓迎の言葉で伝えたい。生徒会主催の歓迎会を開くので楽しんでもらいたい」と話してくれました。

国や県から「緊急事態宣言」などが発令され、新学期早々休校を余儀なくされましたが、平穏な学校生活が再開されることを願っています。

### カメラスケ子



3/19 THU

### 同級生という仲間を大切に

#### 玖波小学校



1



2



3

①保護者にも見えるように、卒業証書を高々と掲げます。②6年間の思いを込めて、鈴木結奈さんの答辞。③花で彩られた中を退場する卒業生。

兼田校長は、6年間培った友情を心に刻むよう「同級生という仲間を大切にしていってください」と、はなむけの言葉を贈りました。式終了後、保護者に向けて、子どもたちの最後の授業の様子を撮影したビデオが流されました。